

建設関係

(都市計画局)

事業名	事業費・	説明
<p>魅力ある景観の形成の推進</p>	<p>1,001万7千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔財産売払収入 42万円 一般財源 959万7千円〕</p>	<p>都市景観行政の推進 370万9千円</p> <p>今定例会に提案している景観条例に位置づける景観形成に関する基本計画を策定するとともに、景観計画の策定に向けた調査、手続を進める。</p> <p>市民ボランティアによる違反広告物の除却 47万2千円</p> <p>都市の美観維持及び通行者の安全確保のため、市が推進員として任命した市民ボランティアにより、道路上のはり紙、立看板等の除却を行う。</p> <p>広島の写真集の作成 583万6千円</p> <p>平和や都市活動、市民活動等を広島の風景として捉えた写真を募集し、写真集を作成する。</p> <p>17年度 審査委員会の立上げ、写真の募集開始</p> <p>18年度 入賞作品の選定、写真集の作成</p>
<p>まちづくり活動への支援</p>	<p>44万8千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔一般財源 44万8千円〕</p>	<p>市民が主体となったまちづくりを支援するため、市職員による出前講座やアドバイザー派遣を行う。</p>

事業名	事業費	説明
<p>「水の都ひろしま」の推進</p>	<p>1,172万8千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔 国庫補助金 140万円 一般財源 1,032万8千円 〕</p>	<p>水辺空間における市民や企業等の自由で多様な利活用の促進に向けた、試行的な取組(社会実験)等を行う。</p> <p>社会実験の実施 351万9千円</p> <p>水辺における規制緩和や新たな仕組みづくりが必要な事業の検証を行う。</p> <p>場 所 京橋川右岸河岸緑地、元安橋付近河岸緑地等</p> <p>水辺の市民活動促進助成制度 260万円</p> <p>河岸緑地・河川空間を活用した先駆的・独創的な活動をモデル事業に選定し、助成金を交付する。</p> <p>限度額 1事業26万円</p> <p>シンボル施設の具体化の検討 207万5千円</p> <p>「水の都ひろしま」の新しいシンボルとなる船上レストラン等の施設について、民間事業者の運営を前提とした具体化の検討を行う。</p> <p>⑨ 猿猴川広島駅南口周辺地区にぎわいづくりの検討 72万9千円</p> <p>「水の都ひろしま」の陸の玄関にふさわしい水辺のにぎわいを創出するため、水辺の演出、オープンカフェなどの可能性を検討する。</p> <p>⑨ 基町環境護岸と中央公園との一体化のあり方検討 74万7千円</p> <p>「水の都ひろしま」のシンボルとしての水辺づくりを実現するため、具体的方策を検討する。</p> <p>社会実験の記録保存その他 205万8千円</p>

事業名	事業費	説明
平和の推進	137万3千円 財源内訳 [基金繰入金 72万3千円 一般財源 65万円]	原爆ドームの保存 72万3千円 17年度実施の健全度調査の結果を「史跡原爆ドーム保存技術指導委員会」に報告し、原爆ドームの保存について、指導・助言を仰ぐ。 キョウチクトウ及び被爆アオギリ二世苗木育成 65万円 市の花であるキョウチクトウや被爆アオギリ二世の苗木を育成し、修学旅行で平和記念公園を訪れた学校に配布する。
緑豊かな都市環境の形成	1,202万円 財源内訳 [一般財源 1,202万円]	⑨ 緑地保全の推進 160万円 デルタ市街地周辺等にある緑地を保全するために、地区指定を行い土地所有者に緑地保全の助言・指導を行うふれあい樹林制度（仮称）の創設を検討する。 屋上等緑化促進事業 114万円 緑地が少ない都市部の緑化を推進するため、屋上等の緑化を促進する国の認定制度による固定資産税の軽減措置等を実施するとともに、民間施設の敷地などの緑化を重点的に促進する地区の指定等を検討する。

事業名	事業費	説明
		<p>グリーン・パートナー事業 33万5千円</p> <p>企業等を対象として既存花壇の維持管理活動への参加や協賛金の募集を行う。</p> <p>美しい樹木・樹林保存事業 74万5千円</p> <p>美観にすぐれた樹木や樹林を指定・公表するとともに、所有者に対して必要な助言等を行い、健全な状態での保存を図る。</p> <p>モザイカルチャー整備 320万円</p> <p>枠組みに草花を植付け展示するモザイカルチャー制作用の苗を育成・展示する。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>16年度 モントリオール市からの枠組みの寄贈</p> <p>17年度 苗育成</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>18年度 植物公園開園30周年での一般公開 苗育成</p> </div> <p>⑨ 国際園芸博覧会への出展負担金 500万円</p> <p>タイ王国で開催される国際園芸博覧会に政令市等の地方公共団体が、庭園の共同出展を行う。</p> <p>出展場所 タイ王国チェンマイ市 国際園芸博覧会会場</p> <p>出展期間 18年11月1日～19年1月31日</p>

事業名	事業費・	説明
公園緑地等整備	9億1,746万円 財源内訳 〔 国庫補助金 1億400万円 〕 市債 5億7,100万円 雑入 2,700万円 一般財源 2億1,546万円	総合公園整備 1億9,546万円 寺山公園 用地取得、施設整備 緑地・緑道整備 1億7,700万円 西部河岸緑地 1億1,700万円 天満川右岸園路整備 (南観音橋～昭和大橋) 古川水鳥緑道 6,000万円 散策路等整備 街区公園整備 6,160万円 施設整備 3公園 光南公園、安東第三公園、 水内公園 福祉環境整備 8,078万8千円 便所改修、スロープ設置等 一般整備その他 4億261万2千円

事業名	事業費	説明
植物公園整備	960万円 財源内訳 [雑入 960万円]	隠里ため池整備
身近な公園再生事業	400万円 財源内訳 [一般財源 400万円]	身近な公園再生活動支援 街区公園等の再生に市民が主体となって行う取組みに対し、活動の初期に要する資材の提供等の支援を行う。
⑨ 住まいづくりビジョンの策定	242万1千円 財源内訳 [国庫補助金 108万9千円 一般財源 133万2千円]	市民が豊かさを実感できる住生活を実現するため、住宅事情や社会経済情勢の変化に対応した今後の住宅政策の方向性を示す住まいづくりビジョンを策定する。 (スケジュール) 17年度 基礎的データの収集・分析、課題の抽出等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 18年度 有識者委員会設置、協議・検討、とりまとめ </div>

事業名	事業費	説明
⑧ 市営住宅ストック有効活用計画の策定に係る調査	300万円 財源内訳 [国庫補助金 135万円 一般財源 165万円]	老朽化した市営住宅の改善等による居住環境の向上など既存の市営住宅の有効活用を図るため、ストック有効活用計画の策定に必要な調査等を行い、市営住宅の基礎的データを一元化したデータベースを構築する。
市営住宅整備	23億9,614万1千円 財源内訳 [国庫補助金 5億2,935万6千円 市債 6億3,800万円 一般財源 12億2,878万5千円]	既設住宅改善 18億730万円 基町住宅再整備 10億530万円 高層住宅 住戸改善・エレベーター改善 中層住宅 室内改修、外壁改修等 アスベスト対策 高齢者等対応改善その他整備 8億200万円 市営住宅アスベスト対策 250万8千円 調査の結果、吹付けアスベストの使用が判明した市営住宅について、設計及び除去工事を行う。 宇品東住宅

事業名	事業費	説明
		<p>空家修繕その他補修 5億2,683万3千円</p> <p>市営住宅附設駐車場整備 5,950万円</p> <p>自動車保管場所の附設駐車場化</p> <p>18年度整備予定 5住宅 841区画</p>
市営住宅耐震調査	<p>1,383万9千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔 国庫補助金 622万7千円 〕</p> <p>〔 一般財源 761万2千円 〕</p>	<p>新耐震基準施行前に建設された市営住宅のうち、柱梁構造の住宅で耐震診断が未了のものについて、段階的に耐震診断及び補強立案を行う。</p>
<p>⑧</p> <p>建築物の耐震性の向上</p>	<p>300万円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔 国庫補助金 67万5千円 〕</p> <p>〔 一般財源 232万5千円 〕</p>	<p>耐震改修促進計画の策定 150万円</p> <p>建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るため、耐震診断等の実施に関する目標などを定めた耐震改修促進計画を策定する。</p>

事業名	事業費	説明
		<p>住宅耐震診断補助制度の創設 150万円</p> <p>民間住宅の耐震化を促進するため、建物所有者等が実施する耐震診断経費に対する助成制度を創設する。</p> <p>対 象 新耐震基準施行前に建設された住宅（賃貸住宅を除く）</p> <p>補 助 率 診断経費の1/2以内</p> <p>補助限度額 戸建木造住宅 1万5千円 共同住宅 15万円</p>
<p>設計図書等データベース化の推進</p>	<p>3,106万6千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔 一般財源 3,106万6千円 〕</p>	<p>公共施設の整備や維持を効率的に進めるため、公共施設の設計図書等の各種データを庁内各部署で共有し、パソコンによる参照・再利用ができるデータベースシステムを構築する。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>17年度 整備計画策定</p> <p>18～19年度 システムの設計開発</p> <p>19年度 稼働</p>